



グローバル推進機構主催インド派遣プログラム スプリングスクールプログラム 2026

募集要項





目次

1. スプリングスクールプログラムについて

○本プログラムの作成経緯と紹介	p.2
○昨年度のプログラムについて	p.3
○今年度の募集について	p.3

2. 実施までの流れ・諸手続き情報

○実施までの流れ	p.4
○費用内訳（目安）	p.5
○現地食費等について	p.6
○航空券等について	p.6
○パスポート取得について	p.7
○ビザ取得について	p.8
○海外留学保険について	p.8
○予防接種について	p.9

3. インド滞在について

○気候について	p.10
○学生寮のシャワーについて	p.10
○病院について	p.10
○ネットワーク環境について	p.11
○水・食事について	p.11
○貨幣について	p.11
○渡航経験者がすすめる持って行くと良いもの・便利なもの	p.12

4. インド工科大学ってどんなところ

○インド工科大学グワハティ校とは	p.13
○キャンパスマップ	p.14

1. スプリングスクールプログラムについて

○本プログラムの作成経緯と紹介

岐阜大学では、国際化の推進と教育研究力のさらなる向上を図るため、2019 年度に各国トップクラスの大学である、インド工科大学グワハティ校（IITG）およびマレーシア国民大学（UKM）とそれぞれ協働し、4つの国際連携専攻（ジョイント・ディグリー：JD）を開設しました。

専攻名	相手	学位	標準修業年限	言語
自然科学技術研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻	IITG	修士	2年	英語
連合農学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻		博士	3年	
工学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻		博士	3年	
工学研究科 岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻	UKM	博士	3年	

JD とは、本学と海外協定大学がそれぞれの強みを活かしたカリキュラムをもとに、共同で作成する教育課程です。学生は標準修業年限の中で、一定期間を相手大学で学びます。留学を伴う国際的な教育環境の中で講義履修および研究活動を行い、在学期間を延長することなく日本と海外における2大学の連名で、単一の学位を取得することができます。このJDの相手大学であるIITGのことを知ってもらう機会として、2019年から新しく派遣プログラムが作られました。

大学生活は自分の行動次第で数多の可能性があります。本学は様々な海外大学と学生交流協定を結んでいます。「知らない」のはもったいない、そんな海外大学が沢山あります。

なかでも、IITG のある北東インドは交通の便の悪さもありツアー旅行などで容易に行ける場所ではありません。また、IITG の優秀な学生とコミュニケーションをとる機会は、非常に良い経験となるでしょう。

今回のプログラムでは、まずは「行って、その環境を体験して、刺激を受ける」を目標に、世界に踏み出す勇気の第一歩になれば幸いです。

IITG では、キャンパスライフを体験してもらうことがメインとなります。IITG 学生との交流を含めたデザイン思考セミナーを実施したり、研究室見学や市内視察など、参加メンバーの興味・関心出来るだけ沿うようにIITGと協働してプランニングしています。





○昨年度のプログラムについて

2025 年 3 月 3 日～15 日の約 2 週間、スプリングスクールプログラムを開催しました。プログラム初日は、プログラムの開講式が、岐阜大学と共同開催のジョイント・ディグリーシンポジウム 2025 会場にて同時に執り行われました。期間中には、アッサム州を代表する国立公園見学や民俗博物館などの見学を通じて、多様性に富むインド文化を学ぶ機会が提供されたほか、現地企業である、生物農薬メーカーなどの見学を行いました。学内では、IITG での JDP 関連学科を中心としたラボツアーが連日開催されました。最終日には、13 トピックに分けられた項目からそれぞれの学生が学んだ内容をポスターにまとめ、プレゼンテーションと質疑応答を行い、修了証書を受け取りました。詳しくはホームページのプログラム詳細ページに、写真とスケジュール表が載っているのでご確認ください。

ホームページ：<https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/springschool/>



○今年度の募集について

対象：学部学生・修士学生（※学部学生を優先します）

期間：2026 年 2 月 28 日～3 月 16 日（現地プログラム期間：3 月 2 日～14 日予定）

派遣先：インド工科大学グワハティ校

滞在先：インド工科大学グワハティ校内の寮（1 人部屋予定）

費用：現地プログラム参加費 無料（※詳しくは p.5 をご覧ください）

定員：10 名

募集期間：2025 年 9 月 10 日（水）～10 月 17 日（金）

内容：調整中（※昨年度の予定より大幅な変更は予定しておりません。今年度も Holi 祭*にご参加いただける可能性がございます。）

ホームページ：<https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/springschool/>

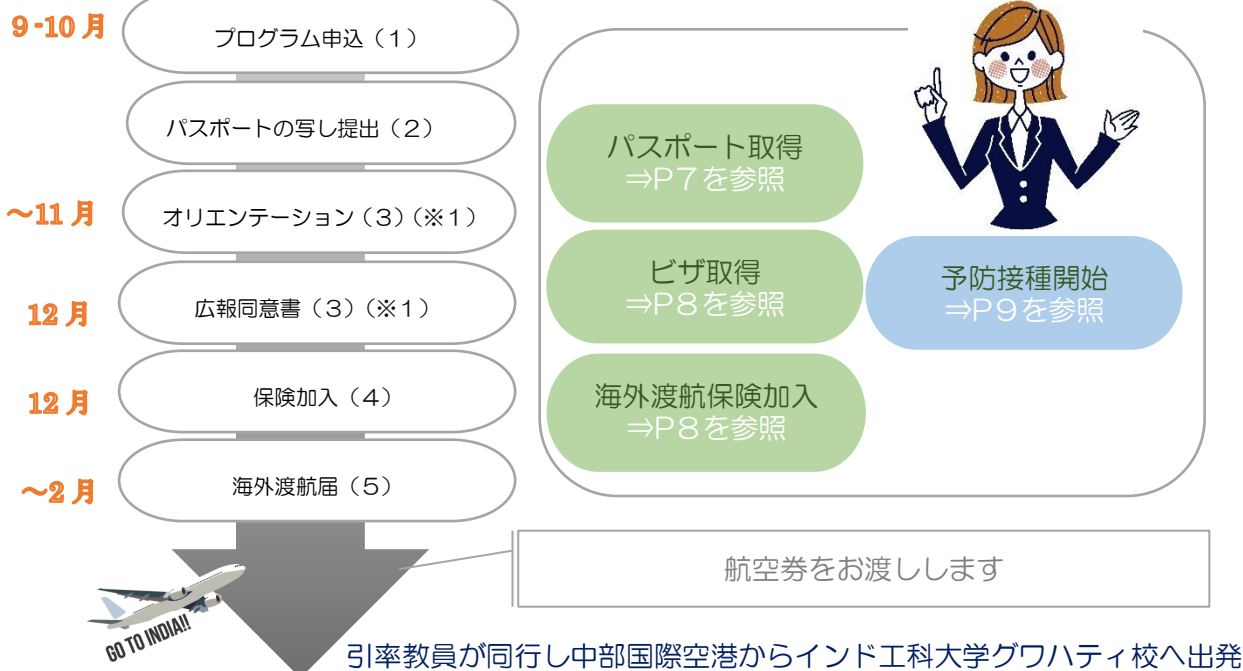
申請フォーム：<https://forms.office.com/r/rPvgtOZuTu>

*ヒन्दゥー教の伝統的な春のお祭りでカラフルな粉を掛け合うお祭りです。詳細はホームページのプログラム詳細 2025.3 の 3 月 14 日をご覧ください。



2. 実施までの流れ・諸手続き情報

○実施までの流れ () は下記提出物リストの番号



提出物リスト

	提出物	形式	提出先	提出期限	✓
1	プログラム申込書	オンライン	グローバル 推進機構	10月17日(金)	
2	パスポートの写し	電子データ または出力紙		採択通知後即時 (未取得者は採択決定後取得開始)	
3	広報同意書	電子データ または出力紙		12月1日までに	
4	学研災付帯海外留学保険 申込名簿	Excel ファイル	学部学務係	12月中に	
5	海外渡航届	学部による		出発前までに	
6	JASSO 申請書※該当者のみ	電子データ または出力紙	グローバル 推進機構	12月中までに	
7	持病に関する書類 ※該当者のみ	電子データ または出力紙		1月中までに	

※広報同意書：本学では、HP等で派遣プログラム実施内容の紹介に写真を使用させて頂く際の承諾を事前に取らせて頂いています。大学の国際化促進のための広報活動にご協力頂きますようお願いいたします。

(※1) 広報同意書は11月開催予定のオリエンテーション時または12月1日までに提出してください。

※持病がある方は事前に保健管理センターで発行できる配慮依頼書またはかかりつけ医の紹介書(英語)を発行していただき、原本は本人が携帯し、写しを国際総務係に提出してください。



○費用内訳（目安）

	項目		費用目安	参加者①*	参加者②**	参照ページ
				※○が自己負担 ※●が大学負担		
1	航空券代（諸税等込） ※予約時の状況によって金額は変更となる 可能性があります。（荷物超過代は個人負担）		約 200,000 円	●	○	6ページ
2	移動に係わる宿泊費等 （前泊やデリー等での乗継地泊）		約 20,000 円	●	○	—
3	現地プログラム 参加費	プログラム費 ：約 10,000 円	約 80,000 円	●	●	—
		寮宿泊費 ：約 20,000 円				
		送迎費 ：約 23,000 円				
		文化体験費 ：約 3,500 円				
		サファリ参加費 （1泊の宿泊費込） ：約 13,000 円				
		その他 ：約 10,500 円				
4	ビザ代		約 2,200 円	○	○	8ページ
5	学研災付帯海外留学保険		約 5,000 円	○	○	8ページ
6	パスポート代		11,000 円～	○	○	7ページ
7	現地食費		約 15,000 円	○	○	6ページ
8	予防接種		任意	○	○	9ページ
9	現地雑費		任意	○	○	—

参加者の決定については、一次選考（書類）通過後、二次選考（面接）を行い、順位付けをいたします。二次選考後、上位 10 名に対して①枠から順に選考者の決定をいたします。

*参加者①：7 名採択予定。なお、併せて JASSO 奨学金による 8 万円が帰国後に支給されます。

**参加者②：3 名採択予定。

○現地食費等について

(例) IITG での 3 食 (1 日 1,000 円程度)



※朝食はパンやフルーツが付きますが、食事はほとんど全てカレー味です

○航空券等について

申込×切後、グローバル推進機構が委託した旅行会社にて航空券等手配を行います。

【航空券等手配の流れ】

申込×切 (10 月 17 日 (金))

①航空券予約 (12 月～1 月上旬) ※時期は後日通知させていただきます。

↓ 72 時間以内発券 (目安)

②航空券発券 (発券とは、予約した航空券の支払を済ませ正式に座席を確保すること)

↓

③支払 (1 月中)

岐阜大学から旅行会社への支払い

※航空券代及び移動に係わる宿泊費等が自己負担となる該当者へは、別途支払方法、支払先をご連絡いたしますので、各自でお支払いをお願いいたします。

↓

④航空券 (E-ticket) のお渡し (2 月中)



○パスポート取得について

パスポートを持っていない場合、パスポートの取得をなるべく早く行いましょう。

また、インド渡航時には、ビザ取得時に6ヵ月以上の残存期間がないとビザの取得が出来ません。そのため、6ヵ月以上の残存期間がない場合はパスポートの更新を行ってください。

パスポートの申請から受領まで

1. 書類の準備

☐ 一般旅券発給申請書

☐ 戸籍謄本（申請日前6ヵ月以内に作成されたもの）

☐ 住民票の写し（該当者のみ）

※必要となる人の条件があります。取得予定のパスポートセンターの情報を確認してください。

☐ 写真（パスポート申請用の規格が厳密に定められています）

☐ 申請者本人と証明できる書類の原本（例、マイナンバーカード、運転免許証など）

外務省 HP（https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html）参照



2. 申請から受領までに、通常1週間程度（土・日・祝日を除く）かかります。

費用について

旅券の種類	都道府県収入証紙	収入印紙	計
10年間有効な旅券（18歳以上） （窓口申請）	2,300 円	14,000 円	16,300 円
10年間有効な旅券（18歳以上） （オンライン申請）	1,900 円	14,000 円	15,900 円
5年間有効な旅券（12歳以上） （窓口申請）	2,300 円	9,000 円	11,300 円
5年間有効な旅券（12歳以上） （オンライン申請）	1,900 円	9,000 円	10,900 円





○ビザ取得について

ビザの取得方法については、別途採択者が決定後に開催するガイダンスにて説明を行います。

※2024年1月16日現在

学生ビザ	
取得方法	オンライン申請→書類を岐阜大学がまとめて大使館に提出
取得時期	随時
必要日数	書類提出から最低3営業日
ビザ有効期間	参加コースの終了日
パスポート残期間	6ヵ月以上
入国回数	制限なし
入国可能空港	制限なし
出国可能空港	制限なし
取得費用	2,200 円 申請料 1,200 円 + 送料 1,000 円
提出書類	オンライン申請書（条件に沿った顔写真付き）、顔写真の原本、パスポート（原本）、英文履歴書、英文預金残高証明書、旅行承諾書、協定書、入学許可書、e-ticket のコピー、委託同意書、等
手続き WEB ページ （インド政府）	https://indianvisaonline.gov.in/visa/index.html 

○海外留学保険について

岐阜大学では大学を通して海外へ行く方には必ず学研災付帯海外留学保険に加入するようお願いしています。保険金額と保険料等詳細に関しましては「2025年度用 学研災付帯 海外留学保険」をご確認ください。

12 月中を目処に「岐阜大学海外旅行保険加入申込名簿」（Excel ファイル）に必要情報を記入の上、所属する学部・大学院の学務係へ提出をお願いします。

【JCSOS Total Assistance Service : J-TAS】

岐阜大学では、上記付帯保険に加入した学生に対し、J-TAS への登録を行っています。J-TAS は、万が一渡航先で事件・事故に巻き込まれた場合の救援者費用をサポートする制度です。また、24 時間対応のヘルプデスクを利用することができ、日常の困ったこと、健康相談などにもサービスを活用することができます。

学研災付帯海外留学保険の加入後に、保険証書と合わせて J-TAS の登録証をお渡しします。（*たびレジ：外務省海外安全情報配信サービスへの登録も併せて行います。）



○予防接種について

インド滞在にあたり、事前に予防接種を受けることが推奨されています。

【接種推奨ワクチン】

A 型肝炎、B 型肝炎、腸チフス、狂犬病、ジフテリア・百日咳・破傷風（DPT）三種混合、日本脳炎

【定期接種歴の確認が必要なワクチン】

麻疹・風疹混合、水ぼうそう、おたふく風邪

（参考：外務省世界の医療事情インド：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/india.html>）



※接種するワクチンは、個人によって異なりますので、トラベルクリニック（渡航外来）のある医療機関を受診し、専門医に相談しながら、必要なワクチンを接種するようにしてください。

※ワクチンによっては、時間を置いて数回（2～3 回）接種するものがあります。余裕をもって、最低でも渡航 1 か月前には接種を始めるように計画しましょう。

※本学保健管理センターでは接種が推奨されるワクチンや、海外での滞在時の健康管理についてアドバイスを行っています。保健管理センターから岐阜大学病院予防接種外来を紹介受診することも可能です。

【接種費用目安参考】

以下近隣のワクチン接種が可能な病院のホームページ等よりご確認ください。

例えば、

名鉄病院：https://www.meitetsu-hospital.jp/department/yobousesshu_index/

検索ワード：「名鉄病院」「予防接種」





3. インド滞在について

○気候について

インド工科大学グワハティ校のあるアッサム州グワハティ市は、亜熱帯性気候域に位置します。10月下旬から3月までは25度前後の温暖な乾期、4月・5月は35度くらいまで上がるにつれて湿度も上昇し過ごしづらい酷暑期、それ以降は雨期となっています。4月～9月は、気温としては日本の真夏と同じか少し低いくらいですが、雨期と重なることで湿度が90%にもなるため、日本の真夏とは少し異なります。今回渡航する3月はグワハティにおいて一番過ごしやすい時期となります。

朝夕：涼しく感じる（薄手のカーディガン等があると良い）

日中：半袖

※インドは冷房を強くかけている部屋が多く、冷房対策の衣類は用意があると良いかもしれません。

○学生寮のシャワーについて

3月は温暖な気候のため、シャワーが常温の水になります（ボイラー点火は1・2月のみ）。参加者体験談としては、使用する間（3日くらい）に慣れてくるそうです。

○病院について

インド工科大学内には大学病院があります。ある程度の病気は大学構内での対応が可能です。（破傷風ワクチン、狂犬病ワクチンも備えられています。）

車で30分圏内に設備の整った病院もあり、手術が必要な場合でも対応できる病院となっています。

○コンセント



←講義室の机のコンセント(B3タイプ)



学生寮の部屋のコンセント（B3とCタイプの複合版）→



変圧器は必要か?…自分の持っていきたい電化製品(携帯電話、ノートパソコン、デジカメなど)の対応電圧を確認してください。(100-240Vであれば、そのまま使用できます。)

※熱源となる家電製品(ドライヤー等)は海外用を使用してください。

○ネットワーク環境について

インド工科大学グワハティ校内には学内ネットワークのWi-Fiがあります。但し、接続状況はあまり良好とはいえません。(インドは細かい停電が多い為)

心配な場合は、海外で利用できるWi-Fiルーターをレンタルすることをお勧めします。

○水・食事について

【水】インド工科大学内の飲み水は、UV フィルター等を備えた浄水器が付けられた水道水です。ただし、滞在期間も短く、ミネラルウォーターも安いので、不安な場合は購入をお勧めします。ミネラルウォーターは各所に売店があり、構内で簡単に購入することが出来ます。

失念しがちですが、歯磨きでもミネラルウォーターを使用する等、「口に入る水」には注意が必要です。

【食事】・食器に水分が付いている場合は、良く拭いてから盛り付ける。

・生野菜は避ける。

の2点に注意していれば、旅行者下痢になることは少ないです。

ただし、スパイスの多い料理となりますので、刺激に弱い方はスパイス過多による下痢になることはあるかもしれません。

○貨幣について

現地通貨であるルピーはインド国内でしか入手できません。行きのデリー空港では日本円からの両替が可能です。

デリー空港：2万円から*2025年3月現在

(写真：グワハティ空港内両替)

また、インド工科大学グワハティ校内には現地銀行のATM(VISA 対応)が設置されているほか、銀行窓口もあります。不測の事態に備えて、数万程度は両替しておくとも良いかもしれません。校内や現地では基本的に現金での対応となる場面が多いです。





○渡航経験者がすすめる持って行くの良いもの・便利なもの

参加者がすすめる 持って行くの良いもの	トイレトペーパー	現地購入も可能だが、大学に着く前にも必要な場合があるため。
	シャワー用サンダル	室内も靴のまま過ごすため、シャワー後に履き替えるサンダルがあると便利です。
	汗ふきシート	感染症予防にもなるので、体質に合ったものを用意しておくといい。
	有効成分の高い虫よけ	
	虫刺され用かゆみ止め	
	爪切り・耳かき	
	マスク	感染防止対策としてはもちろんのこと、空気が乾燥していたり、大気汚染＋土埃がひどい日があります。
プログラムコーディネーターがすすめる 持っていくと便利なもの	トラベルケトル	現地で温かい飲み物等を飲みたい場合があると便利。寮の部屋によって備え付けケトルがある場合とない場合がある。
	非常食	現地の食事が合わない場合に。余ったら、日本のお土産として渡せるものにとすると便利。
	絆創膏	外出先で気づかずに靴連れをしていて寺院等で素足になる必要がある場合、破傷風等の感染症予防にあると便利。
	洗濯セット	洗濯したものを干す紐や洗濯ばさみ等があると便利。
	タオル類	備え付けのタオル類はありますが、乾きが悪くそれだけでは足りなくなります。自分の必要な量を持っていくと便利。



4. インド工科大学ってどんなところ

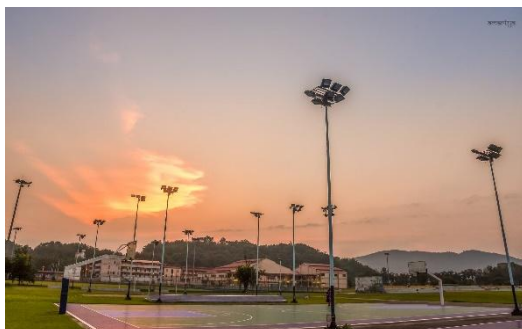
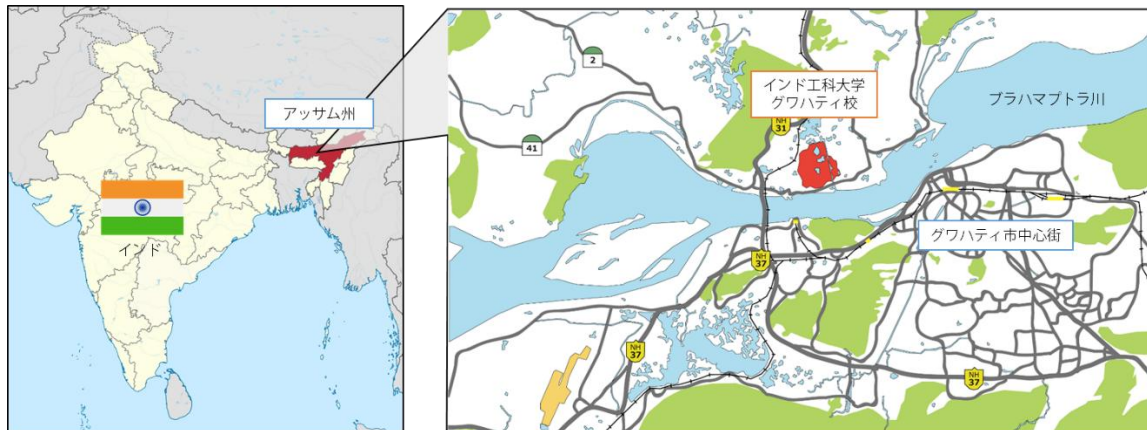
○インド工科大学グワハティ校 (<http://www.iitg.ac.in>) とは



インド工科大学グワハティ校 (IITG) は、インドにおける「工学と科学技術」の最高高等教育研究機関として設置されたインド工科大学のなかの一つです。現在23校あるなかで、6校目の大学です。

IITG は、11の学部・研究科と5つの学際領域センターを有し、学士・修士・博士課程を有する「工学・科学技術」の単科大学です。工学、科学、人文科学の主要分野を網羅しているほか、高度な研究を行うための世界クラスの施設が整備されており、最先端の科学技術装置も備えています。

同校は、グワハティ市の中心街から約 20km 離れたブラハマプトラ川北岸に位置し、285ha の自然豊かで広大なキャンパスです。キャンパス内には池や丘があり、インド工科大学の中でも特に自然豊かで美しいキャンパスとなっています。



キャンパスマップ





岐阜大学グローバル推進機構

〒501-1193

岐阜県岐阜市柳戸1-1

[手続き等についてのお問合せ]

国際総務室

TEL:058-293-3350

E-mail: gutenkai@t.gifu-u.ac.jp

[プログラム内容についてのお問合せ]

応用生物科学部

准教授 今泉鉄平（居室：応生棟 A517）

E-mail: imaizumi.teppeij6@f.gifu-u.ac.jp